



2007年秋号

# 地球

男女が共に生きる情報紙 VOL.74



## 希望をもって生きていますか？

夢や希望を実現するエネルギーは、まわりの人にも伝わります。  
幸せに生きるために、ずっと希望を持ち続けたい。

### もくじ

- 希望が湧いた言葉との出会いはどんな時でしたか？
- いつまでも続けたい
- 継続するエネルギーがあれば誰でも夢を形にすることができる
- すべての学校からいじめが無くなってほしい
- インフォメーション



# 希望が湧いた言葉との出会いは どんな時でしたか？

多かれ少なかれ出会った言葉で勇気付けられ、希望が湧いてきたことはあるものですね。

あなたにとってはそれが、どんな言葉でどんな時でしたか？

私事ですが、身動きができず、食事を自分で食べることもできず、床ずれまで作ってしまった老犬の24時間介護に追われていたある日、「ワンちゃんはおあなたのお家で飼われてよかったわね」

と優しく言ってくださる方がいました。その言葉は“私のしていることは間違っていなかったのだ”と疲れていた私を癒し慰めてくれました。安楽死を教えてくれる獣医さんもいて、そのほうが私に介護されてこんなに苦しむより幸せかもしれないと、自分のしていることに自信がありませんでしたから。

人間は孤独でさびしいのが当たり前なのです。自分がさびしいから人の寂しさもわかる。自分はさびしいのだから、あの人もきっと人恋しいだろうと思いやったとき、相手に対して同情と共感が成り立ち愛が生まれる。

作家・瀬戸内寂聴氏のこの言葉に「あ～、人間は私だけでなく誰でもさびしいものなのか。さびしいのは当たり前なのか」と納得した時、気持ちが楽になり、さびしさが薄らぎ、大げさですが、それから人生が楽しくなりました。

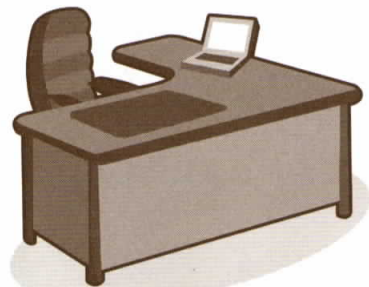
『運命をかえる言葉の力』（井形慶子著／集英社）の

中にこんな件（くだり）があります。辞めていく社員に対して、「新しい職場で頑張るね」と気持ちよく送り出せない自分の度量の狭さの反省もこめて書かれた出会いと別れのひとこまです。

## 運命をかえる 言葉の力

The writing magic catches any heart

井形慶子  
KEIKO INAKI



二八歳で私は自分の出版社を興すため、それまで勤めていた会社を辞めた。〈略〉そのまま残る道も十分考えた。だが独立する興味もあった。要はどちらにも道はあったのだが、考えた末、私は独立するほうを選んだ。今にして思えば、上司だった社長には私もかなり精神的負担を与えたはずだ。

最後の日に長年お世話になった社長に「ありがとうございました」とあいさつして、その会社の近くに借りた小さな事務所に向かった。歩く道すがら、これから人生はうまくいくのだろうか、引き返したい思いに心はゆれた。〈略〉

そんな気持ちを引きずって、学生アルバイト一人だけがやってくる自分の事務所のカギを開けて部屋に入った。すると何もなかったはずの部屋の一角に見慣れた机が置いてあるではないか。

その机は今まで私が編集長として使い続けてきた机だった。その机の上に走り書きの手紙が置いてあった。それはさっき別れた社長の文字だった。

君の門出を祝う。

この机は最後のプレゼントです。

これまでどおりいい仕事をして下さい。

驚きと淋しさが交錯した。〈略〉経営者になってみて、人は会おう時より別れていく時のほうがはるかにむずかしいと知り、この時の社長の手紙に頭が下がる。

〈以上抜粋〉と結んでいます。

ことば、詞、言の葉……泉のように湧いてくる言葉。魔法使いのように変幻自在な言葉。

言葉と心で人を癒すことができたらと思います。まず、相手と正直にまじめに向き合うことでしょうか？ 私の最大の目標です。

（井戸 記）



# いつまでも 続けたい

リタイア後に好きなことでイキイキと活動をされている方に話を聞きたい! そんな思いでいたとき、『NPO法人コネット湘南』を知った。早速、取材に出かけ、理事長の加藤三仁さんを始め、小関禎一さん、大竹富二男さんにお話を伺った。

加藤さんは社会人現役でコネット湘南を立ち上げた。企業のパソコンの廃棄処分の問題が騒がれ出した頃、廃棄物を再利用したい、CO<sub>2</sub>排出削減に貢献したいという想いから、中古パソコンリユース事業(主に東南アジアに寄贈する国際親善やIT教育に資する事)を始めた。

「全部地球から得た物で生きているのだから、地球にお返ししなければ。希望ある地球を子ども達に残さなければ」と信念を熱く語られた。

小関さんは、昔からパソコンに惹かれており、退職後は他でも国際的な活動をしていたので、コネット湘南でカンボジアにパソコンを寄贈する際に協力することが出来た。

大竹さんは、元々自分でパソコンを作る程のパソコン好き。ちょっと見学に来たその日からそのまま参加している。

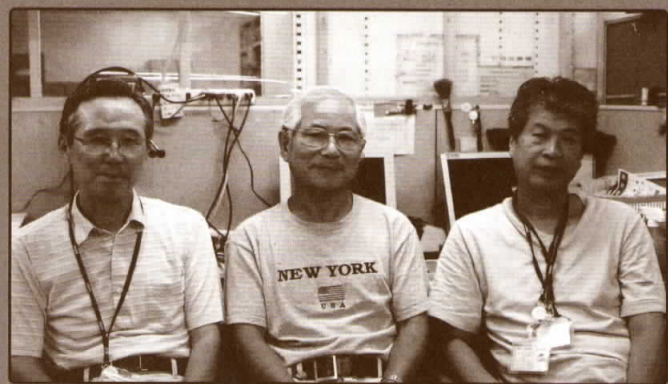
「使えなくなったパソコンを分解し、再利用するかしないか、工夫次第で面白い。これだって外見は古いけど、中身はXPで早い。外見はポンコツ車でも、エンジンがボルシェのようなものなんです」と嬉しそうに語り、「ここは色々な企業の出身の人が集まるので、経験や知識は幅広く、知恵が集まるんです」と仲間で活動する良さも語ってくれた。

そして仲間として「女性もウェルカムです」と強調されていた。



近隣小・中学校には、パソコンを分解して内部構造がわかるようにパネルに配した教材(写真左)を贈っている。

「ハードディスクの中身を見たことのある人は大人だって少ないです。この先端部分が一番高価な資源をつかっているんですよ」と説明を受けた時、脳の中を見た



左から、大竹富二男さん、小関禎一さん、加藤三仁さん

ようで、思わず声をあげてしまった。学校でこのパネルを見た子ども達が目を輝かした時、メンバーがやり甲斐を直に感じる瞬間ではないだろうか。

「仕様部材が色々混ざるとただのゴミ。内部は結構金がかかわれている、金属資材別に分けると資源となる。金は電気抵抗がないし、錆びないから……」と話題が次々と出てくるし、その表情が若々しいのに圧倒されるほどだ。地球規模の夢を語り、好きなことをされているからだろうか。

「好きなことをやっていると言っても、作業はルーティンワークで地味な作業ですよ」と言いつつ、お互いに互いの若さに驚いていた。そして「作業中にも外に出て空を見上げたりする、それが大事。地球に関心を持って過ごさないと」との静かな言葉に重みを感じた。

また、「従来は日本語版キーボードを英語版に替えて海外に寄贈していたけれど、日本語版のまま出せないかを考えている」と今後の活動の意欲も述べられた。

室内は宝箱のようだ。整理されたパーツやパソコンが積み、パネルや部品の山が所狭しと置いてある。そして、正面の壁にはカンボジア政府からの「建国功績賞」の感謝状が掛けられ、輝いていた。

\* \* \* \* \*

ニュースで、ツバル国が何年後かに海に沈んで無くなってしまいう話を聞いた。CO<sub>2</sub>による地球温暖化で南極、北極の氷山が融けて海水が増え、海面が上がるのが原因だそうだ。国が無くなってしまいうのに、その国の子ども達は今なお、「お父さんのような立派な漁師になるんだ」と、希望を語っていると聞く。

今回、コネット湘南を訪れたことで、だれもが住みよい地球とするために、自分ができる小さなことから活動していきたいと感じた。彼らのように希望をもって!

(三嶋 記)



# 継続するエネルギーがあれば 誰でも夢を形にすることができる

仕事を通じて社会に貢献する起業家ネットワーク「キープラネット」の代表理事を務める川野真理子さん。起業家のスキルアップや交流・情報交換を主な目的として、10年にわたって活動を続けてきた。約200名いる会員の7割を女性が占める。「失敗したと思っても、次には失敗しないように頑張り続けられればいいですよ」と、温かいまなざしで笑う川野さんにお話を伺った。

## 挫折と失敗の体験が明日につながる

「勉強してちゃんと力をつけて、仕事を通して社会に役に立つ女性起業家になろうね」

10年前、川野さんは仲間にごう呼びかけて、起業家のネットワークを立ち上げた。

4歳の子どもをかかえ、離婚と同時にパソコンのスキルを活かして会社を設立したが、2年で壁にぶつかって会社を閉じた。その自らの挫折と失敗体験が、キープラネット設立の原動力だった。

「経営のことを何も知らなかったのです。経理も営業もどうしたらいいかわからない。人脈もなかった。独立してみて、私には足りないことが多すぎると実感しました。勉強しながら実際に体験し、失敗も経験しながら地道に実績を重ねて力をつけていく。そういう場が必要だと思いました」

ITを活用しながらも、実際に会って、人と人との信頼関係を築く活動に力を注いだ。それが、新しい仕事を創り出すきっかけにもなり、たくさんの起業家が育っていった。

「多くの女性起業家は、子どもが小さくても、親の介護が必要になっても、家族の理解が難しくても、加齢の症状もすべて受け入れて、事業している。私も大変だけど、一緒に頑張りようねと励ましあいながら続けてきました」

そういう自らの体験から、これから起業を考える女性には、次のようにアドバイスしている。

「これをやりたいということが見つかったら、最初は自分で勉強して、友人・知人の間で小さい会をつくり、勉強会やイベントを開いたりしながら少しずつ周辺に広げていきましょう。受け入れられたら商品化して、提供するモノやサービスに価格をつけて試行錯誤してみる。市場に出すのはそれからです。時間はかかりますが、こういう

段階を踏んでいくことをお勧めします。

とにかく、定期的に継続的に活動することですね。最初からビジョンなんか見えなくてもいい。やり続けていれば、いろいろなものが見えてきますから。特別な才能がなくても、あきらめずに継続していくエネルギーがあれば、きっと夢を形にすることができます」



川野真理子さん

NPO法人キープラネット代表理事／経済産業省「行政とコミュニティビジネスのパートナーシップに関する調査研究」検討委員を務める

## 人生は結果ではなく積み重ねが重要

「起業」というと、とかく成功・失敗、勝ち組・負け組といった結果論で語られることが多いが、それは違うと川野さんは指摘する。

「人生は、結果ではなく、積み重ねが重要だと思っています。自分の能力を活かして、人が必要としている商品やサービスを提供できるところに、起業の喜びがあります。みんながありがとうと言ってくると、また頑張れる。その繰り返しです。つらいことも多いけれど、起業の先にはそういう幸福があると思うし、それがあからこそ、続けていける。大事なのはその積み重ねなんです」

川野さんもまた、来年新たな事業にチャレンジする。

「女50歳の再挑戦です！ 愚痴をこぼしたり、事業のアイデアを相談したり……そういうことができる、起業家のためのダイニングサロンを開業します。東京と地方を食でつなぎ、ふるさとの役にも立ちたいと思っています」

自らチャレンジを続ける川野さんの、実体験から紡ぎだされる言葉は、心のなかにしみ込んでいく。だからこそ、人に希望を与える力もある。お話を伺いながら、いつの間にか「私も頑張りよう」と元気になっている自分を感じ、そんなことを思った。

(松永 記)



# すべての学校から いじめが無くなってほしい

昨年の秋以来、マスメディアでもいじめの問題をよく目にするようになった。多くの有識者が、いじめを「いけないこと」と認めつつ、解決策まで示唆できないでいるのが現状だ。

そんな中、藤沢市立村岡中学校で、いじめられている生徒を仲間の生徒たちがサポートする、いじめ防止プログラム「スクールバディ制度」を学校の中に作る試みが行われている。まず、先生、親、生徒それぞれが、いじめに対して同じ認識を持つところから講習は始まる。さらに、クラス単位では、いじめとは何か？ 犯してはいけない

人間の境界線とは……などの確認から、いじめに対して、どう対応したらいいか？ をわかりやすいワークショップ形式で学んでいく。その中から、いじめに対するサポート役である「スクールバディ」希望者を募り、サポート活動に参加させる。最後にクラスごとのアピールを劇、ポスターなどの作品に仕上げ全校生徒の前で発表し、ワークショップは終了する。スクールバディ達は、さらに週1回の講習を重ね、現在、学校放送、ポスター作成などPR活動を開始している。このプログラムを開発し、指導にあたったNPO『湘南DVサポートセンター』代表瀧田信之氏にお話をうかがった。

瀧田氏が主宰する「湘南DVサポートセンター」は、1999年、家庭内の暴力を受けた女性と子どもに対する支援を行う団体として設立された。現在、DVサポートのほかに、若い世代のDV（デートバイオレンスや学校でのいじめ）に関するプロジェクトEND VIOLENCEの活動を心理、福祉、法律、教育を勉強する大学生を中心としたメンバーと共に幅広く行っている。

「僕は、DVといじめは、リンクしていることが多いと思っています。DVを見て育った子は、暴力を身近な大人から学んでしまう。子どもたちの自尊心が育っていない場合、いじめの被害者、加害者になりやすい傾向にあります。子どもたちにいじめの加害者像は？ と聞くと、家に問題がある人、寂しい人、人のことをうらやましがる人、弱い人という答えが返ってくる。助けてと叫んでいるのは、加害者の子も同じじゃないかと思っています。

ワークショップの中で、いじめた子はどうしようかとクラス全員に聞くと、子どもたちは、許して仲間に入れてやると言う。それが、スクールバディ制度の原動力になります」

制度を取り入れる前と後で村岡中は、どう変わったのだろうか



「先生方のご意見によると、バディがどんどん出てきている。校内放送でも取り上げ、ポスターも張り出している。そのことに自分たちも関わっていると、今まで傍観者だった子が、やめろよと注意できたり、いじめという言葉も口にしても大丈夫な雰囲気になってきている。近所の方からも、生徒たちの態度が変わったとお褒めの言葉をいただくようになったそうです」

では、まわりの大人は、どんなサポートをすることが大切なのだろうか



「結局、家庭の力ではないですか。学校でいじめられても、親にとって、子どもが何よりも大切だというメッセージが、常に流れている家庭に育っていれば、帰る場所があるから、その子は崩れないと思うのです」

最後に今後の展望をうかがった



「要請があれば市内全部の学校でも実施したい。今、一緒にできるメンバーを養成しているところです。市内の校長先生の集まりである校長会で話題になっているし、近隣の他、関西の教育委員会からも問合せがきています。県の青少年協会がこの取り組みに対して、秋以降モデル校をピックアップして実施することになりました。県内で、すでに短縮バージョンで実施した学校もあります」

現在、村岡中学校ではプロジェクトリーダーが3年生から2年生に引き継がれている。この試みが定着しつつあることが、第二、第三のいじめのない学校を作るための一歩にちがいないと感じた。

「こういう構想を考えたとしても、なかなか実行することは難しい。自分の学校で実行しようと言ってくれた校長や先生方に出会えたことが、本当に幸せだったと思う」と言った瀧田氏の言葉が印象に残った。

(川辺 記)



# インフォメーション

## 男女共同参画課からのお知らせ

## 労働会館の講座

申込み・問合せ ☎ 26-7811

### 共に生きるフォーラムふじさわ2007を開催します

- テーマ：伝わっていますか？ あなたの気持ち  
～コミュニケーションレスの時代～
  - 講師：大島 武氏（東京工芸大学芸術学部准教授）
  - と き：12月2日（日）13:30～15:30
  - 場 所：藤沢市役所 新館7階 第7会議室
  - 定 員：150名（申込み順） 参加無料・保育あり（要予約）
- 申込み等、詳細については、11月10日号の広報ふじさわをご覧ください。

### 啓発リーフレット

### 男女共同参画社会「みんないきいき 笑顔で暮らす!!」

ともに輝く「男女共同参画社会」を実現するには？  
みんながいきいき笑顔で暮らすには？  
そもそも、男女共同参画社会って  
どんな社会なんだろう…。



6つの視点から、男女共同参画社会について取り上げ、ふじさわ男女共同参画プラン推進協議会・専門部会で平成19年3月に作成しました。

- ① 「男は仕事」「女は家庭」なの？
- ② 「みんなで子育て」って？
- ③ 「自分らしさ」って？
- ④ 「ワーク・ライフ・バランス」って？
- ⑤ 「DV」って？ ～STOP! 暴力～
- ⑥ ともに輝く「男女共同参画社会」を！

詳しい内容は、男女共同参画課のホームページをご覧ください。ぜひ、アクセスしてご覧ください。

かがやけ地球は市民の編集員さんの企画・運営によって、  
年4回発行しています。

編集スタッフ：井戸君江・川辺裕子・松永美佐寿・三嶋和代

### 就職支援セミナー

- 内 容：就職のプロセス、適職選択、応募書類の書き方、面接対策ほか
- 日 時：11/6（火）、12/4（火）、2008.1/8（火）
  - ① 正社員希望者対象……………13:00～17:00
  - ② パート・アルバイト希望者対象……………10:00～12:00
- 対 象：市内在住または在勤で就職・転職を希望する方、各36人
- 申込み：広報ふじさわ各月10日号に掲載

### 就職支援個別カウンセリング

- 内 容：就労に向けた相談に個別アドバイスします。
- 日 時：11/1、8、15、29、12/6、13、20、2008.1/10（全木曜日）  
10:00～16:45（但し、毎月最終日は13:00～18:45まで）
- 対 象：市内在住または在勤で就職・転職を希望する方、各5人
- 申込み：広報ふじさわ各月10日号に掲載

### パートセミナー

- 内 容：パートタイマー等と社会保険
- 講 師：秋山恵美子社会保険労務士
- 日 時：11/27（火曜日）14:00～16:00
- 対 象：雇用主・労働者・一般 40人
- 申込み：広報ふじさわ10月10日号に掲載

成人式振袖

七五三

卒業式袴

貸衣裳



NISHIKI

- 藤 沢 店 0466(23)1918
- 茅ヶ崎店 0467(85)4390
- レンタルブティック 0466(23)5235

Grand Hotel SHONAN\*



All for the Guest.  
すべては、お客様のために…

ご予約／お問い合わせは

☎ 0466-22-1311

<http://www.shonanhmg.co.jp/fujisawa>

〒251-0054 神奈川県藤沢市朝日町11番地

inamotoya.com



アクティブミセスからシニアまでの  
快適生活をサポートする

ユニバーサルファッション・ショップ

オシャレで、着心地の良い服を  
豊富に取り揃え、  
皆様のご来店お待ちしております。

日経流通新聞、暮らしの手帖、  
テレビ朝日などの掲載店

藤沢さいか屋2F・JR藤沢駅北口すぐ TEL & FAX 0466-22-3109

藤沢・茅ヶ崎・寒川「湘南」がエリアのFM放送局



<http://www.radioshonan.co.jp>

STUDIO FAX No.0466-29-2121